



第24回「親子ふれあい歩こう会」

◆目次◆

- 利尻富士町学校支援地域本部事業…………… 2
- 放課後子ども教室推進事業…………… 3
- 第24回「親子ふれあい歩こう会」…………… 4
- 夏休みチャレンジ教室…………… 4
- 協賛事業・活動報告…………… 5
- 第37回読書感想文コンクール優秀作品… 6
- 利尻富士町PTA連合会研究大会……………10
- 編集後記……………10

# きずな

『どさんこアウトメディアプロジェクト』  
電子メディアへの接触時間を見直そう

毎月第1・第3日曜日は、  
「ノーゲームデー」

第1・第3日曜日は大人も子どもも、ゲームをしないで  
「家族の団らん」を大切に「体験活動」「読書活動」に親しまましょう！

### 「ノーゲームデー」とは？

電子メディアとの過度な接触時間を見直すなど、子どものネット利用も含めた望ましい生活習慣の定着を目指した取組です。

第1・第3日曜日の月2回は、スマートフォン等を使ったゲームなどから離れて、「家族の団らん」を大切にしたたり、「体験活動」や「読書活動」などに親しんだりすることを道民に呼びかけることを趣旨としています。



令和5年度 利尻富士町学校支援地域本部事業

# 子どもたちの学びに地域のかを

学校からの「こういうことをやりたい」というニーズに地域のかを組み合わせることにより、学校の活動をより活発で効果的にするための事業です。

地域の子どものために…… **あなたのかを生かしてみませんか？**

利尻富士町教育委員会では、学校教育活動のお手伝いをしていただけの方をいつでもお待ちしております！

**目的**

☆**教育のさらなる充実**

- 学校の先生や大人が子どもと向き合う時間を拡充することや多くの大人が子どもを見守ることで、よりきめ細やかな教育ができます。

☆**生涯学習社会の実現**

- 地域住民の、自らの経験や知識を生かした活動が、自己実現や生きがいづくりにつながります。

☆**地域の教育力の向上**

- 地域住民が学校の教育活動に関わることで、地域のきずなづくりにつながり、地域の教育力が向上します。

## 令和5年度 活動内容のご紹介



柔道授業 指導



下校指導ボランティア



図画工作科授業 指導



スキー授業 指導



1・2年生への  
読み聞かせ



旭浜ふ化場見学



《鴛泊小学校》

- ・1、2年生の朝読書時間への読み聞かせボランティア派遣（令和5年4月～令和6年3月）
- ・新入生下校指導ボランティア派遣
- ・図画工作科授業指導（絵画）
- ・社会科授業指導（ごみ焼却場見学、配水池・浄化センター見学）
- ・生活科授業指導（鮭とば・鮭フレークをつくろう）
- ・総合学習授業指導（ヒラメ畜養施設見学、旭浜ふ化場見学、利尻の水産・ウニ・昆布・さけについて知ろう）
- ・スキー授業への補助者派遣

《鴛泊中学校》

- ・バドミントン部活動指導、大会外部コーチ派遣
- ・卓球部活動指導
- ・スキー授業への補助者派遣

《利尻小学校・鬼脇中学校》

- ・保健体育科授業指導（ダンス）
- ・総合学習授業指導（福祉学習講座）
- ・バドミントン部活動指導、大会外部コーチ派遣
- ・スキー授業への補助者派遣

《その他》

- ・柔道授業への有段者派遣（鴛泊・鬼脇中学校合同：6回）



鮭とば・鮭フレーク作り



遊び、まなび、ふれあえる場をみんなで

## 放課後子ども教室推進事業

放課後子ども教室は、放課後や週末、夏休み・冬休みなどに、安全・安心な子どもの活動拠点（居場所）を設け、地域のみなさんがコーディネーターや協働活動支援員となって、子どもたちに学習機会やスポーツ体験、交流活動などさまざまな機会を提供し運営されています。



### 平日放課後子ども教室

- 日 程 令和5年4月～令和6年3月（平日）
- 会 場 鴛泊小学校・鬼脇公民館
- 登 録 町内小学生 42名
- 運 営 地域コーディネーター 2名、協働活動支援員3名

### R・ふじっ子クラブ活動

- ◆1日ふじっ子教室
- ◆水泳教室 53名【指導者：柴田瞳】
- ◆鴛泊バドミントン教室 2名【指導者：工藤真司】
- ◆絵画教室 11名【指導者：辰己富雄】
- ◆スキー教室（鴛泊）16名【指導者：スキー指導員】
- ◆鬼脇バドミントン教室 6名【指導者：工藤潤生】
- ◆鬼脇かるた教室 6名【指導者：愛好会】
- ◆南浜獅子神楽子ども教室 15名【指導者：保存会】



## 第24回 親子ふれあい歩こう会

令和元年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響や、昨年は雨天と中止が続いておりましたが、今年度は7月23日(日)、4年ぶりに開催することができました。あいにくの曇り空でしたが、幼児から一般までの54名が参加。昼食会場まで2時間ほど歩き、新緑と残雪を眺めながらジンギスカンを堪能し、最後はみんなで記念撮影をしました。



### 参加者の声

- 山に登りはじめてずっと歩いているとどんどんつかれてたいへんでした。ですがみんながえがおで「がんばろう」と言ってがんばってたのが思い出です。 《浅岡 楓媛》
- 去年は、中止になったので、今年の歩こう会を、とても楽しみにしていました。山のきれいな景色を見ながらたくさん歩いたので、万年雪で食べたジンギスカンはすごくおいしかったです。 《岡田 啓児》
- はじめてまんねんゆきを見れてうれしかったです。山でたべるジンギスカンがおいしかったです。らい年もママとパパと3人でのぼりたいです。 《佐藤 琴哉》
- 万年雪は、登ったことがなかったので、良い体験をしたなと思います。上り坂が思ったよりも急で、大空沢まででもつらかったです。でも自分の足で歩くと、達成感がありました。 《須田 ひまり》



## 夏休みチャレンジ教室

8月7日(月)～11日(金) 小中学生 22名参加

本事業は、子どもゆめ基金の助成を受け、北海道教育大学旭川校の協力を得て行われ、短期集中講座を実施することにより教員をめざす学生とのふれあい、自然とのふれあいを持ち、学ぶ意欲がある子どもたちに対し、学習機会や様々な体験を提供することをねらいとした事業です。

5日間の活動メニューは、学習支援として夏休みの課題取組、大学生考案のスポーツ体験やお楽しみレク、大運動会にお泊りキャンプなど盛りだくさん。

工作では、魔術書工房の永都さんにお越しいただき『紙染め(ミニノートの表紙作り)』をしました。中世ヨーロッパの頃から伝わる技法で、色とりどりの素敵なミニノートが完成しました。

その他にも『古代火おこし』に挑戦しました。みんなで協力し、苦戦しながらも無事火おこしは成功。その火を種火に、空き缶で炊いたご飯とジンギスカンを堪能しました。

今年はいにくの天候でしたが、体育館にテントを張り、お泊りキャンプ体験をすることもできました。今後も事業の継続に向け、大学や地域との連携をより一層充実するために学生や地域ボランティアの確保に努めるなど、更なる事業の充実を図っていききたいと思えます。



National Institution For Youth Education  
独立行政法人 国立青少年教育振興機構  
「子どもゆめ基金助成活動」

体験の風をおこそう





## 協賛事業



**わんぱくマラソン大会  
2023**  
【7月8日】  
参加者 12名

### 防犯・交通安全 さわやか駅伝大会

【9月10日】

一般：5チーム 25名  
特別：3チーム 12名



### 町民会議ではこんなこともしています

学校や教育委員会の関係者以外に、理事者や福祉課長、町議、自治会長、商工会、駐在、福祉事務所、ロータリークラブ、稚内信金、漁組など、たくさんの団体で構成され、下記の趣旨のもと活動しています。

本年度の総会には、副町長や議員をはじめとして31名が参加し、事業計画の他に各小中学校、利尻高校、駐在より児童・生徒の様子についての報告や、商工会からイベント企画（4地区対抗運動会）の報告がありました。

#### 1 趣旨

現今、社会情勢の変化は著しく、青少年を取り巻く諸問題は多様化し、特に小中学校・高等学校の在学青少年の中に起きている様々な事象は大きな社会問題となっており、緊急に対処・対応しなければならないことが山積していると言っても過言ではない。

こうしたとき、青少年の健全育成は、その当事者や行政のみでなく地域全体の課題であるととらえて、関係する全ての機関、住民で広く会議をおこして青少年の健全育成に適切に対処しなければならない。

### 令和5年度 利尻富士町青少年健全育成町民会議 決算見込

(単位：円)

	項目	予算額	決算見込	説明
収 入	補助金	400,000	400,000	町補助金
	繰越金	250,764	250,764	前年度繰越金
	助成金	1,000,000	621,073	子どもゆめ基金助成金(夏休みチャレンジ教室)
	参加料	195,000	125,600	親子ふれあい歩こう会、夏休みチャレンジ教室
	雑入	236	1	預金利息他(利息)
	合計	1,846,000	1,397,438	
支 出	事業費	1,630,000	966,831	親子ふれあい歩こう会、夏休みチャレンジ教室、利尻富士町PTA連合会共同事業
	広報委員会費	120,000	120,000	広報「きずな」発行
	事務局費	36,000	19,284	総会・役員会・各委員会、消耗品費、財北海道青少年育成協会賛助会費、他
	予備費	60,000	440	PTA連合会補助金振込手数料
	合計	1,846,000	1,106,555	



# 第三十七回 読書感想文コンクール優秀作品

## 【小学校一学年の部】

「ぜったいにおしちやダメ？」

利尻小学校 土 上 ひかり

このほんにはボタンがついていません。ボタンをおすとたいへんなことがおきるので、ぜったいおしてはダメとほんのなかのラリーにいわれました。わたしはすごくおしてみたくありません。

ラリーもがまんできなくてボタンをおしてしまいます。そうすると、ラリーのからだはいろいろなつたりみずたまになつたり、なかなかもとにもどりません。たいへんなことがおこってしまったとおもっていると、おなかをこするとともにどることができました。わたしは、よかったですとおもいました。

さいごはとくべつにすきなだけボタンを、おしていいよといったのでわたしはボタンをなんかいもおしました。たいへんなことがおこらないか、すしドキドキしましたが、だいたいよかったです。なんでラリーだいたいへんなことがおこったのかわかりません。みなさんもそのボタンにはきをつけましょう。なにかが

おこるかもしれません。

## 【小学校二学年の部】

「ほねほね」をよんで

鴛泊小学校 川 村 桃々葉

わたしがこの本をえらんだ理由は、体の中がどうなっているのか分かるかなあと思ってこの本をえらびました。

いろんなほねのやくわりを絵やことばでわかりやすくしようかしている本でした。

たとえば「こつばん」は、やわらかい「ないぞう」を入れておいたり、だいな赤ちゃんをそだてるためのゆりかこのやくめをするということが書いてありました。

わたしがおもしろいと思ったのが、足のほねです。

かたがきょうりゅうの足みたいだし、小さいのに体をささえているからです。体の中のほねをたくさんしれてよかったです。

## 【小学校三学年の部】

「先生、しゆくだいわすれました」

利尻小学校 土 上 凌 央

ぼくのえらんだ本の題名は、『先生、しゆくだいわすれました』です。この本をえらんだ理由は、題名がもしろかったのと、学校で同じようなことがあるかもしれないと思ったからです。

この本は、クラスのみんながじゅんばんにしゆく題をわすれて、その理由を楽しくみんなにせつめいするお話です。

ある日、主人公が、しゆく題をわすれてうそをつくことから始まりです。しゆく題でんけん係のりこにしゆく題をだしてないことを言われ、たんにんのえりこ先生に理由を聞かれます。主人公は理由を言いましたが、すぐにうそだとばれてしまいました。しかし、先生は「楽しいうそだったらいいよ。」というのです。ぼくはしゆく題をわすれたのにいいのかなと思いました。ぼくだったらうそをついたことをあやまって、明日ぜったいにやってきましたと言うと思います。なぜ先生は楽しいうそだったらいいと言ったのか気になりました。

その日からこのていあんで、一日一人しゆく題をじゅんばんにわすれて、楽しい理由を言い合うことが

始まりました。みんなはしゆく題をわすれてもいいことに大よろこびです。ワクワクしました。はっぴょうは朝の時間に決まりました。みんなのはっぴょうは宇宙人が出てきたり、えんぴつが動いてしゃべったり、とてもおもしろい理由ですごく考えられたお話だと思いました。そして先生はかならず、「それならできなくてもしかたないわね。」と言います。

そんな毎日がつづいたある日、先生がしゆく題のプリントを作るのをわすれました。先生も作るのをわすれた理由を楽しく話してうそなんだけど本当にあったようなとてもおもしろい話でした。クラスのみんなは「そりゃあ、プリントつくるのわすれてもしかたないね。」と言い、いつもは先生に言われていることを、こんどはみんなが言い、教室の中がわらい声でいっぱいになりました。とても楽しそうでいいなと思いました。でもみんな楽しい理由を考えるより、しゆく題をやる方が楽だと気づいたみたいです。

みんなの楽しい理由がたくさんあって、ぼくならどんな理由にしようかと、色々と考えてみました。さいごに自分で考えて、はっぴょうするということが、先生がしゆく題をわすれてもいいよと言った理由だったのでないかと思いました。これでおわります。



【小学校四学年の部】

「雨ふりマウス」

利尻小学校 牧 野 泰 希

ぼくは「雨ふりマウス」とはどんなねずみなのか気になったこと、そして今年は雨の日が多いのでびったりだなと思いいこの本をえらびました。この本は、新しい家に引っこしてきたミキトが三匹の小さなねずみとヤナギの精のミドリさんと出会い、次々と不思議なできごとが起きるお話です。

ヤナギの精や雨ふりマウスは、ミキトにだけ見えてミキトのまわりだけに不思議なことが起こります。はじめのうちはおどろいてるけど、どんどん不思議なことが起こっていきうちになれていっていいせいにものごとを考えられるミキトはすごいなと思いました。

もしぼくのまわりで、ミキトに起こったようなことが起きたとしたらこわいと思うし、ドキドキしていいせいには考えられません。自然は時にはすごい力をはき出すということを知り、雨の日にでかけてみたら楽しい発見があるかもしれないとワクワクした気持ちになりました。

ミキトは最後に家が水びたしになってまた引っこしてしまってヤナギの精と雨ふりマウスとお別れしてしまふけれどまたいつかどこかで会えるといいなと思いました。ミキトに起こった不思議なできごとは少しこわいし、大変そうだけど、ぼくもそんな不思議な体験を少しだけしてみたいと思いました。雨の日がつづいてるので、なにかおもしろい発見を試してみたいです。



と、いいなと思いました。ミキトに起こった不思議なできごとは少しこわいし、大変そうだけど、ぼくもそんな不思議な体験を少しだけしてみたいと思いました。雨の日がつづいてるので、なにかおもしろい発見を試してみたいです。

【小学校五学年の部】

「ライト兄弟」

鴛泊小学校 須 田 ひまり

私は、ライト兄弟が飛行機を作ったのは知っていましたが、どのような人だったのか、どのように飛行機を作ったのか、どのようにこの本を選びました。

このお話は、小さいころから、こわれたおもちゃなどを分解するのが大好きな仲良し兄弟が、人類はじめての動力つき飛行機を造り、飛ばすというお話です。

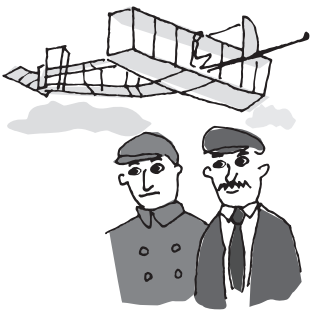
私は、この本を読んで心に残った言葉があります。

「飛んだ！ぼくたちのグライダーが、飛んだんだ！」

という言葉と、その後に行った、「来年は、もっと性能のよいグライダーにして、またこよう」という二つの言葉です。私は、ライト兄弟がそのようなことを言ったのを知って、『すごいな』と思いました。

なぜなら、たくさん勉強して人を乗せてグライダーを飛ばしたからです。そして、グライダーの飛行が成功したから終わりではなく、もっと高みを目指していたからです。

私はライト兄弟とは違い、やりたかったことや、やってみようと思えたことが、レベルが低くても満足してしまいます。でも、それだと『夢』には届かないことが、この「ライト兄弟」を読んでわかりました。ライト兄弟がたくさんの経験を積みかさねて国に認められたように、私も国に認められるまではいかななくてもいいけど、自分がすごいと思えるくらいはねばり強くやるということをし、わすれずに、『ライト兄弟』を読んで学んだことを生かして、これから生活していきたいです。



【小学校六学年の部】

「藤原道長」を読んで

利尻小学校 飯 田 乃 唯

私がこの本を選んだ理由は、社会の授業で平安時代を勉強していて、興味を持った人物だったからです。

藤原道長は九六六年に、藤原兼家の子として生まれました。道長は五男でしたが、感染症の流行で兄達が亡くなってしまったので、三十歳という若さで右大臣に任命されました。そこから「道長の時代」が始まりました。

娘達を天皇にとつがせ、娘達が皇子を生むと皇子が成人するまで、後見となりその皇子が天皇にそっくりすると外祖父として権力をふるいました。道長の有名な歌に「望月の歌」というのがあります。「この世をば我が世とぞ思ふ望月の欠けたることもなしと思へば」というものです。

私には初め全く理解ができませんでしたが。調べていくと、自分の人生に満足しているという内容でした。今の時代にまで残っているような歌を詠める道長はとてもすごいと思いました。

平安時代の服装や食事にも興味を持ちました。お内裏様のような着物を着て頭にも冠という帽子を被っていてとても大変そうな衣服だと思いました。



浴衣でも歩きづらいのに、夏は暑くなかったのかと心配になりました。食事では魚や野菜が中心だったようで、栄養がかたよっていたそうです。一日に二回しか食事をしなかったそうです。電気やガスのある今の時代とは全然違う生活をしていたことに驚きました。

乗り物は牛車やおみこし、馬だったそうで私も乗ってみたいと思いました。

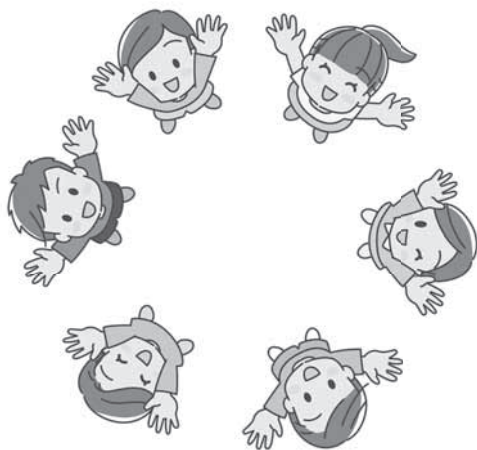
家はなんと東京ドームよりも広い敷地に寝殿と呼ばれる平屋に住んでいました。給料は約五億もらっていたというところにいちばん驚きました。こんなにもらって何に使っていたんだろうと疑問に思いました。

大きな家に住めたり、たくさんのお金をもらえる道長は羨ましいと思いました。

この本を読んで道長はとても羨ましい生活をしているなと思いました。が、電気やガスのない生活は私には考えられないです。この生活はとても豊かなことに気付きました。

道長のことを、勉強してよかったです。

歴史がとても好きになりました。これからも興味を持った人物の本を読みたいと思いました。



【中学生の部】

「世界はカラフルだ」

鷺沼中学校二年 村 谷 音羽

なぜ人は表面的な部分だけでその人のイメージを簡単に作り上げてしまうのだろうか。その人の考えをまともに聞かず独断で解決してしまうのか。私のクラスメイトは小さい頃から現在まで変わらないクラスメイトだ。いつからか、自分の思っている意見も言わなくても伝わる、あの子はこう思ってるんだから、と自分でその人の考えを決めつけるようになっていた。そんなとき私は学校の図書室で「カラフル」という一冊の本に出会った。

この本は、前世に犯した罪によっ

て、輪廻のサイクルから外された主人公が、前世で自分が犯した罪を思い出し、輪廻のサイクルに戻るため、自殺を図った少年、小林真の体にホームステイをするという物語である。彼の周りの人たちは、悪いと評価されるようなことをしてきて小林真が知らない間に傷つけていた。しかしその人と同じく向き合ったとき、理由だったり自分が勝手な独断で決めていたこと、善悪では捉えることができない部分がたくさんみえてくる。彼は前世では見つけようとしていなかった幸せやその人の良さも、ホームステイをしていく中で身近に幸せがたくさん転がっていたことに気づく。これを読んでいて、私の世界も同じだ、と思った。ちよつとのことである人を知った気になってしまふ。表面的な部分でもそうだ。彼の周りのクラスメイトと私は一緒だった。第一印象で彼は変わっている、とか暗くて地味だから一人で居たいんじゃないなど勝手に彼の雰囲気や容姿で決めつけてしまっていた。でも本当は彼とクラスメイトは一緒で

て、このような考え方は自分が損してしまうなど思った。友だちになれたり、話してみたら気が合うかもしれないのにその機会をひとときの思い込みでのがしてしまうのだから。もつとその人の中身を見てみたら面白いかもしれない、その人の性格を知った気になるのは中身を知ってからにしようと思った。

「普通の男の子」だった。それを縛っていたのは周りからの言葉だった。印象だった。私はクラスメイトと同じ考え方をしていたので、自分ももしかしたら気づかないうちに人を傷つけてしまっていたり、苦しめてしまっているのかなと思った。そして、この世の中は答えのないものがほとんどだ。色んな良さがあり、同時に悪い部分も見える。みんな、自分の

「カラフル」はそれぞれの色があって、個性的でいい、という楽観的な言葉で使われている。しかし、このカラフルには悲観的な言葉の意味も使われているのだと私は思った。この世の中は答えのないものがほとんどだ。色んな良さがあり、同時に悪い部分も見える。みんな、自分の





中にはたくさんさんの顔がある、そして色んな色を持って悩んでいる。これはみんな共通して言えることだろう。そして、自分が見たい世界だけを描いてしまふ。良くも悪くも自分の想像で世界を作り上げてしまった。り白黒つけたがってしまふ。違う角度から見ればカラフルに見えることも、はっきり断ち割ってしまふから周りのカラフルも、自分のカラフルも忘れてしまふ。でもきれいな色も汚い色も色んな絵の具を持っていて色んな色に悩んでいる人間だから新しい色が生まれて色とりどりの世界になるのかもしれない。



### 「農業は楽しい仕事」

鷺沼中学校三年 種 谷 海 璃

「日本の農業からどんな活気が失われていく」

これは「タガヤセー日本」という本に書かれている言葉です。みなさんは農業に対してどのようなイメージを持っていますか。きっと「大変そう」など、マイナスなイメージを持っている方が多いと思います。私も「農業は辛い仕事」だと思っていました。しかし、この本は農林水産省で働いている方が書いたもので、日本の農業の魅力や農林水産省の仕事について学ぶことができ、農業についての考えを改めることができました。実際に、私はこの本を読んで沢山のことを知り、農業の魅力に気づくことで、農業に対して持っていたマイナスなイメージが「楽しそう」というプラスのイメージに変わりました。その中でも特に印象に残ったことが二つあります。

一つ目は、「『自分で一から農業を新たに始める人』が二〇一三年頃から増え始めている」ということです。私は、一から農業を始めるのは何もわからない素人からしたら大変だし無理そうだと思っていましたが、実は、若い農家さんが少しずつ増え始めていて、初めて農業にチャレンジする若い人にとって、今は農業を

始める絶好のタイミングなんだそうです。このことを知って「なぜ若い農家さんが増えているんだろう」と疑問に思ったのでインターネットで調べてみたところ、「『自給自足ができるから』『穏やかに過ごせそうだから』というように、農業に対するイメージがプラスの方向に向かっているから」と書いてありました。確かに、自分で時間をかけて育てたものは安心安全だし、一人でゆっくりと栽培できるので、気楽に楽しく取り組めそうだと思います。

二つ目は、SNSを駆使して情報発信をする農家さんがいるということです。みなさんは「農Tuber」という言葉を知っていますか。「農Tuber」というのは、名前の通りYouTubeで農業関連の動画をアップする農家さんのことです。動画を見ると、栽培方法やコツを教えているだけでなく、農家のリアルなところまで全て教えてくれるので、農業を始めたい人や家庭菜園が好きな人などにとっても役立つと思います。

また、「農Tuber」だけではなく、この本を書いた農林水産省の白石優生さんが主に作成している「BUZZMAFF」というチャンネルもありました。「農林水産省がある」など面白く仕事を紹介して

て、楽しく見る事ができ、私はこの動画を見て農林水産省の仕事に興味を持つようになりました。

私は修学旅行の省庁見学で農林水産省の見学に行く予定です。この本を読んだおかげで農林水産省の仕事や日本の農業について知り、「もっと知りたい」と興味を持つようになったので、この本から学んだことをふまえて話を聞いたり、質問したりして、更に学び、その後にある学校祭での発表に繋げていきたいです。

また、農家さんとの直接的な関わりはほとんどありませんが、将来は管理栄養士になりたいと考えているので、日本の農業の特徴、情報を知ることによって仕事に役立てることもでき、沢山の人の栄養バランスの良い食事を提供できると思います。もっと農業に関心を持ち、これからの食生活に活かしていきたいです。





# 利尻富士町PTA連合会研究大会「教育講演会」

11月1日(水)に利尻富士町総合交流促進施設「りぶら」を会場に、町P連研究大会「教育講演会」が開催されました。

講師にさっぽろ子育てネットワーク代表：河野和枝氏を迎え、『今どきの子ども理解と子育て～子どもとどう向き合えば良いのか～』と題して講演して頂きました。

河野氏は北星学園大学を教授職で定年退職後も名寄市立大学非常勤講師として現在も教育現場でご活躍されています。また、多くの教育機関の役職を歴任され、子育てに携わってこられました。その経験から子育てについて感じたことや考えを時にはユーモアを交えながらわかりやすく語って頂き、会場の参加者の心に響く、貴重な時間となりました。「なるほど、そうだったのか」「子どもってそういうことあるよね」「あの時、そう考えて対応すれば良かったのか」など、納得する声がたくさんあったのは言うまでもありません。

お忙しい中、札幌市から利尻富士町までお越し頂き、河野氏には心より感謝申し上げます。また、保護者や学校関係者だけではなく、地域の方々にも会場まで足を運んで頂きました。PTA連合会として、多くの皆様と子育てについて共に学び合えたことは、本当にうれしい限りです。来年度もまた学びの機会を提供することができたらと思います。

## 参加者の声

- ・子ども3人を育てていますが、利尻で子育てができて良かったと思います。今後も地域の人の手を借りながら、多くの角度から様々な経験をさせてあげたいなぁと先生の話をお聞きして感じました。
- ・子どもの困難な状況の背景には家庭の困り感があると日々感じます。どうしたらいいんだろう？という迷いへのヒントがたくさんあった講演でした。島内にもこうして繋がる専門家がいたらいいのになと思います。

利尻富士町PTA連合会  
教育講演会  
「今どきの子ども理解と子育て」  
講師 河野 和枝氏  
令和5年11月1日(水)  
18:00~19:35  
入場料 無料  
利尻富士町総合交流促進施設 りぶら



## 編集後記

今年も「広報きずな第七十一号」を発行することができました。編集に携わった広報委員の皆様をはじめ、関係された皆様に深くお礼を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が、五類へと引き下げられ、日常の生活が取り戻されつつあります。利尻富士町青少年健全育成町民会議では、今年度、「親子ふれあい歩こう会」、「夏休みチャレンジ教室」をはじめ、その他の共同事業、協賛事業を開催しました。企画・運営に携わった関係者の皆様、参加された皆様にあらためて感謝致します。

さて今日、利尻富士町の人口が減少し、子どもの数も減ってきました。各種事業やイベントに参加する児童・生徒の数も減っています。昔のような盛大さは見られませんが、青少年健全育成町民会議の原点に立ち戻り、事業や活動を推進していく必要があると考えます。

今後は、社会情勢の変化や新しい時代に対応し、子どもたちを健全に育成していく取組みがより一層、求められてきます。地域の皆様がアイデアを出し合い、利尻富士町青少年健全育成会議が益々発展していくことを期待しつつ、編集後記と致します。

広報委員会委員長

米田 達雄